

2. 火山の概況

(平成 16 年 6 月 10 日 ~ 平成 16 年 6 月 16 日)

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は 2。

三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは 2。

桜島では降灰があった。レベルは 2。

薩摩硫黄島では降灰があった。

諏訪之瀬島では火山灰を含む噴煙が確認され、降灰があった。

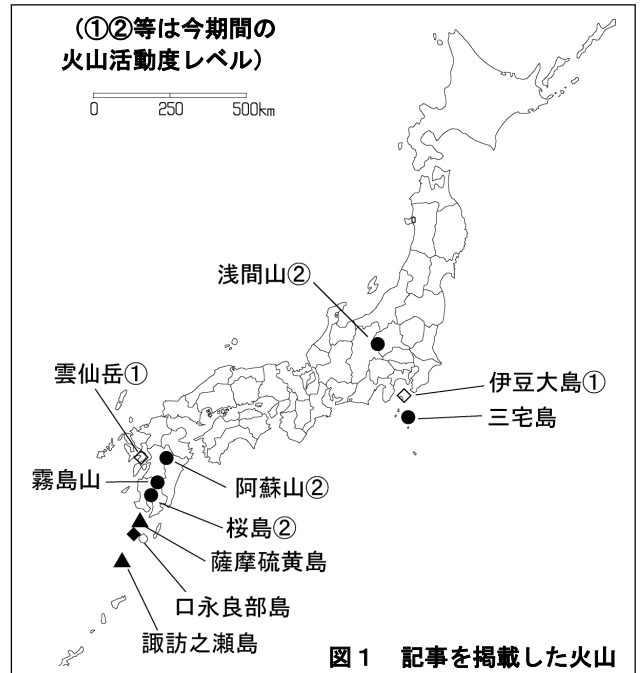


図 1 記事を掲載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		草津白根山	富士山	三宅島	霧島山	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号							
25	6/10-6/16	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●			●	●	▲	◇	▲
24	6/3-6/9	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●		●	●	●	●	●	▲
23	5/27-6/2	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●			●	●	▲	●	●
22	5/20-5/26	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲			●	●	●	●	
21	5/13-5/19	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	●		●	●	●	●	

注 1 記号の意味

- ▲：噴火した火山
- ：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変わった火山
- ◇：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● **浅間山 [地震・微動・噴煙・熱] レベル 2 (やや活発な火山活動)**

振幅の小さい地震は、昨年 6 月末頃からやや多く観測されるようになっており、今期間も 1 日あたり 21~59 回とやや多い状態が継続した。また、振幅の小さい火山性微動が 2 回観測された(前期間は 6 回)。

山麓の監視カメラでは、白色の噴煙が最高で火口縁上 300m まで上がるのが観測された。

赤外カメラ(群馬県林務部が火口縁に設置)では、引き続き火口底に高温部が確認された。

◇ **伊豆大島 レベル 1 (静穏な火山活動)**

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

● **三宅島 [噴煙・火山ガス・地震]**

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上 500m であった。

15 日に行った上空からの観測¹⁾では、火口から白色噴煙が連続的に噴出し北東に流れていた。火口内の状況に大きな変化は見られなかった。赤外線カメラによる火口内の最高温度は 191℃ であった。また、火山ガスの観測では、二酸化硫黄の放出量は日量 3,500~3,700 トンで依然多い状態であった(図 2)。

振幅の小さいやや低周波の地震は、1 日あたり 23~39 回とやや多い状態で推移した。

GPS による地殻変動観測では、昨年 6 月頃から始まった三宅島の収縮傾向が継続している。

1) 海上保安庁の協力による

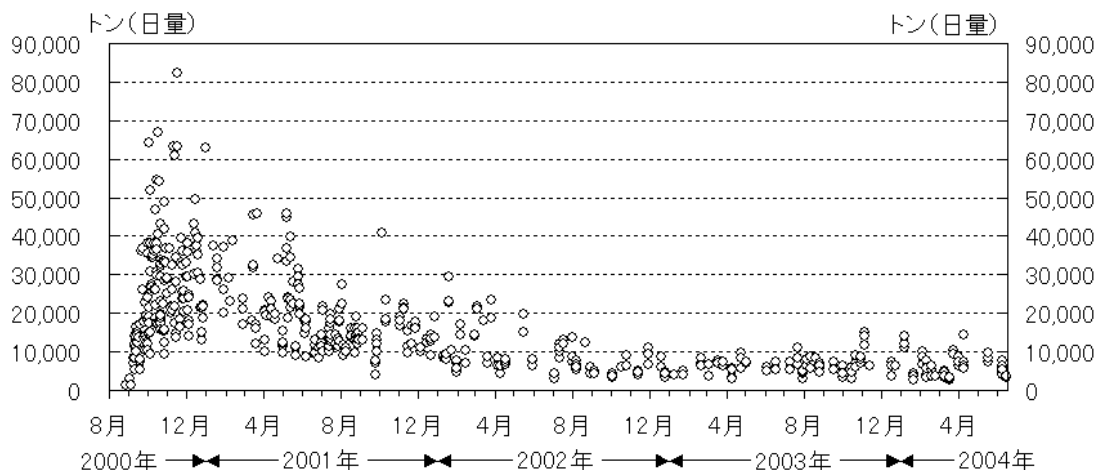


図2 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移 (2000年8月26日～2004年6月16日)

● 阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

10日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、湯量は約4割で、湯だまりの表面温度の最高は75℃(前期間74℃)、火口壁の最高温度は354℃(前期間390℃)と依然高温状態にあった。湯だまりの中央部及び南西側で高さ約5m、その他数ヶ所で高さ2～3mの土砂噴出が観測された。

期間中、火山性微動は連続して観測された。また、孤立型微動は今期間265回発生し、前期間(358回)から減少したものの、依然としてやや多い状態が継続している。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上300m(前期間500m)であった。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ 雲仙岳 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。13日と14日に御鉢の火口縁を越える噴気が遠望カメラで観測され、その最高は火口縁上300mであった。

● 桜島 [噴煙・降灰] レベル2 (比較的静穏な噴火活動)

期間中、桜島で噴火と計数している規模の噴火はなかったが(前期間もなし)、噴煙活動は活発で、火山灰を含む有色噴煙(灰白色)が度々観測され、有色噴煙の高さの最高は10日の火口上700m(灰白色)であった。

13日、15日及び16日に鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で降灰が観測された(前期間は3日～6日に観測)。今期間の降灰量は3g/m²であった(前期間は9g/m²)。

▲ 薩摩硫黄島 [降灰]

三島村役場硫黄島出張所によると、13日夜～16日に集落(硫黄岳の西南西約3km)で降灰が確認された(前期間はなし)。

◆ 口永良部島

地震の発生は、2月2日に多発して以降増減を繰り返してきたが、5月後半からは少ない状態で推移している。

▲ 諏訪之瀬島 [噴煙・降灰・微動]

7日（前期間）から始まった火山活動の活発な状態は11日まで続いた。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、10日及び11日に火山灰を含む噴煙が確認され、噴煙の高さの最高は10日の火口縁上1,200mであった。また、10日06時～07時頃、集落（御岳の南南西約4km）に少量の降灰があった。

8日午後から連続して発生していた火山性微動は10日07時17分まで観測された。火山性微動は、その後断続的に発生し、11日朝まで35回観測された。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第320号	10日09:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
	↓（1日2回発表） 火山観測情報第333号	↓ 16日16:30	
阿蘇山	火山観測情報第32号	11日11:00	火山活動は引き続きやや活発（孤立型微動やや減少、微動連続状態、小規模な土砂噴出多数発生、湯だまりの高温状態継続）。レベルは2。
諏訪之瀬島	火山観測情報第7号	10日11:30	火山活動はやや収まってきている（爆発的噴火の発生が減少し、微動の発生が連続から断続に変わった）。
	火山観測情報第8号	11日11:00	火山活動は収まってきている（爆発的噴火の発生は前日からなし、微動の発生も減少）。